

DRV-230

スタンダードドライブレコーダー

取扱説明書<詳細版>

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



メモリーカードについてのご注意

- メモリーカードは定期的にフォーマットしてください。
- メモリーカードは消耗部品であり、寿命があります。SDエラーが出る場合にはメモリーカードの寿命が考えられますので、新しいSDカードと交換してください。
※推奨SDカード：KNA-SD8A/KNA-SD16A/KNA-SD32A
詳しくは当社ホームページでご確認ください。
http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/sd/
- メモリーカードの寿命に起因する故障または損害については、当社は一切の責任を負いません。

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


⚠ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意 (しなければならぬ)の内容です。

 禁止 (してはいけない)の内容です。

 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

目次

安全上のご注意 (必ずお読みください)	4
もしものときは.....	7
メモリーカードをフォーマットする	7
各部の名称とはたらき	8
画面のアイコン表示について.....	9
本機のセットアップ.....	10
Step1: 本機の取り付け / 配線.....	10
付属のシガープラグで接続する.....	11
CA-DR150 (別売品) で接続する	12
Step2: 日付および時刻を設定する ..	14
Step3: メモリーカードを挿入する ..	15
Step4: 駐車モードをオンにする	16
常時録画と駐車モード中の画面表示時 間の設定を変更する	18
本機の録画機能について	19
機能1 : 常時録画 (連続録画).....	19
機能2 : イベント記録.....	19
機能3 : 駐車録画.....	20
機能4 : 写真を撮影できます	21
録画ファイルを再生する	21
[常時] ファイルを再生する場合.....	21
[イベント] ファイルを再生する場合	22
[駐車] ファイルを再生する場合.....	23
[写真] ファイルを再生する場合.....	24
設定を変更する.....	26
メニューを表示する	26
常時録画とイベント記録の記録時間設 定を変更する.....	29
常時録画とイベント記録の記録時間設 定を変更する.....	30
KENWOOD ROUTE WATCHER II	31
インストールする.....	31
トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)	32
主な仕様.....	34
その他.....	35
保証とアフターサービス (必ずお読み ください)	37

安全上のご注意 (必ずお読みください)

内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

⚠ 危険



本機(内蔵電池)の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
 - 加熱したり、火の中に入れてたりしない
 - ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない
- 内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
 - 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
 - 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる
- 発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

⚠ 警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
 - 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける
- けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について

⚠ 警告



本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き直し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品やメモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がり

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

⚠ 注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。







コードの扱いに注意する



コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告

-  分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切つて他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- 機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
- 故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
-  雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。
-  ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

注意


-  本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
-  走行前に本機の取り付け状態を点検する
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告

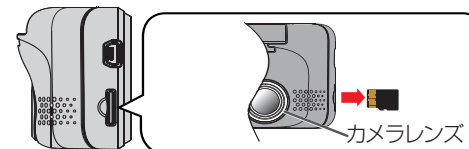
-  異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意

-  落としたり使用を中止する
機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

もしものときは！！

録画ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてメモリーカードを取り出してください。

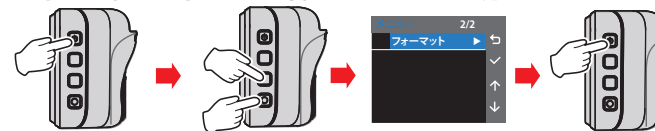


メモリーカードを押し少し飛び出したら引き抜きます。

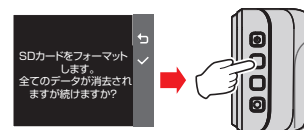
メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを使用する前と2週間に一度くらいを目安にメモリーカードをフォーマットしてください。必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。

- 1 電源オン中に電源ボタンを押す。メニューを表示して「フォーマット」を選ぶ

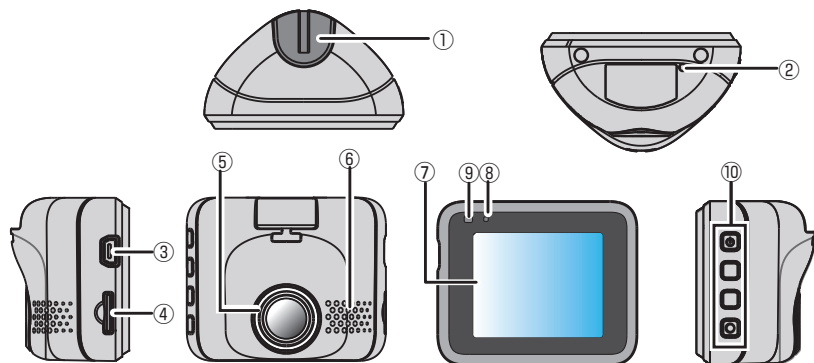


- 2 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されるので確認する



各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



①取付ブラケット挿入部

②リセットボタン 本機をリセットします。

③ミニ USB 端子

付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150(別売品)を接続します。

USBケーブル(市販品)を接続してパソコンとも接続することができます。

④メモリーカードスロット 付属のメモリーカードを挿入します。

⑤カメラレンズ

⑥スピーカー

⑦液晶画面

⑧マイク 録音中の音声を収録します。

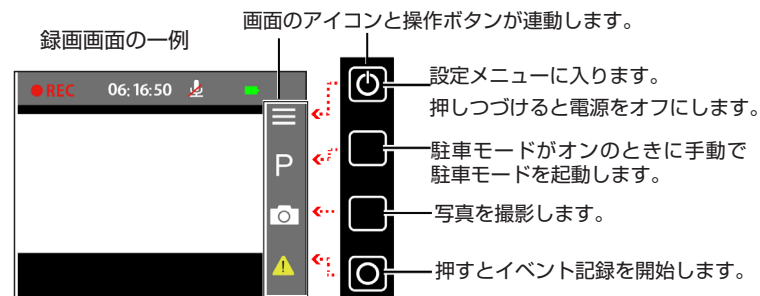
⑨インジケーター

状態	充電	録画
緑色点灯	充電中	録画していない*
消灯	充電していない	録画していない*
緑色と橙色が交互に点滅	充電中	録画中
赤橙色点灯	—	駐車モード監視中
赤橙色点滅	—	録画中

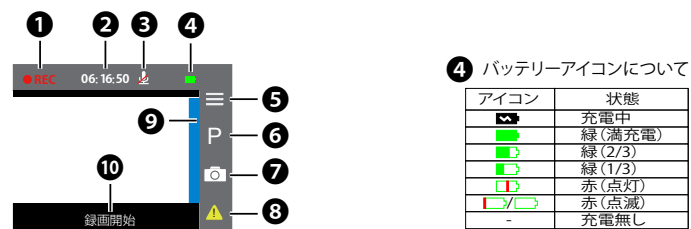
*「録画していない」とはメニュー表示中または録画ファイル再生中です。

⑩操作ボタン

4つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。



画面のアイコン表示について



No.	アイコン	説明
①		録画中、アイコン(●)が点滅します。
②		現在時刻を表示します。
③		🔇 音声記録無し(オフ)
④		バッテリー残量を表示します。
⑤		設定メニューを表示します。
⑥		手で駐車録画モードを起動します。
⑦		写真を撮影します。
⑧		手でイベント記録モードを起動します。
⑨	オフ オン 	駐車モードの検出方法設定で動作検出:オンを選択した場合の検出レベルを表示します。検出レベルが高いほどアイコンの反応も大きくなります。
⑩		録画開始時に表示します。
		イベント記録中に表示します。
		駐車記録中に表示します。

*記録中(■)にボタンを押すとイベント記録を停止し、常時録画モードに切り替わります。

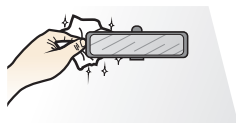
本機のセットアップ

<本機をご使用になる前に必ず実行してください。SDカードは挿入していない状態でセットアップを開始してください。>

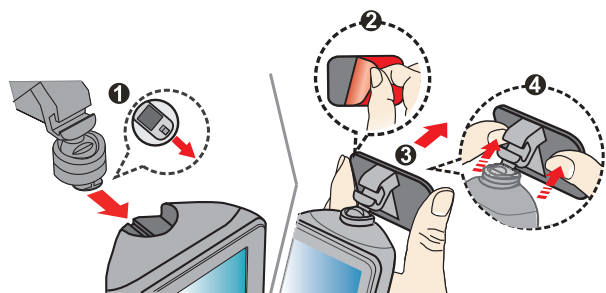
Step 1: 本機の取り付け/配線

- フロントガラスの上部から20%の範囲以内に取り付けてください。
- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- 他の車載機器(安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど)に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両取扱説明書を参照ください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- きれいに録画するために、ルームミラーの近くに本機を配置することをお勧めします。

- 1 車が水平な場所に駐車していることを確認する
- 2 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く



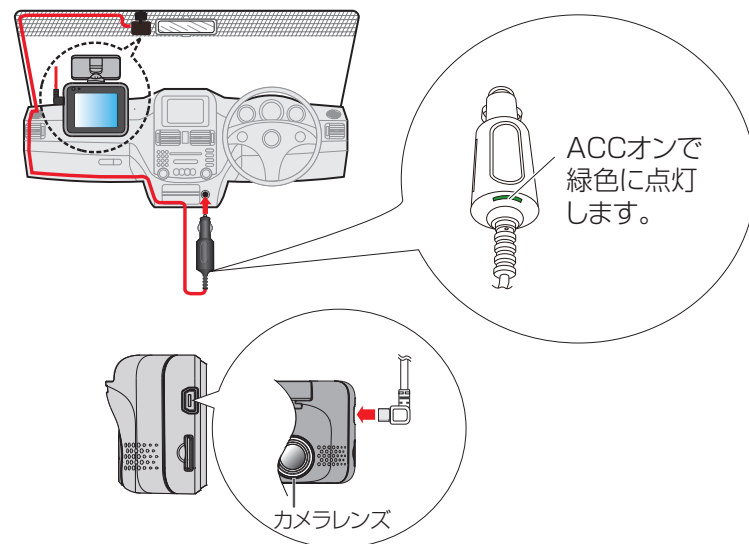
- 3 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける



貼り付け位置を確認して貼り付けます。粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

付属のシガープラグで接続する

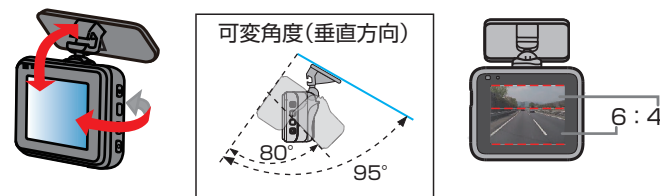
- 1 付属のシガープラグをシガーライターに接続して本機に電源コードを接続し、配線する



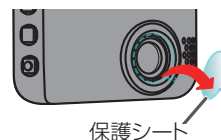
- 2 エンジンキーをオンにする
電源がオンになり充電が始まります。シガープラグのランプが緑色に点灯します。
- 3 そのまま3分以上充電する
約3分充電すると使用できるようになります。

- 4 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約6対4であることを確認してください。



- 5 保護シートをはがす



CA-DR150 (別売品) で接続する

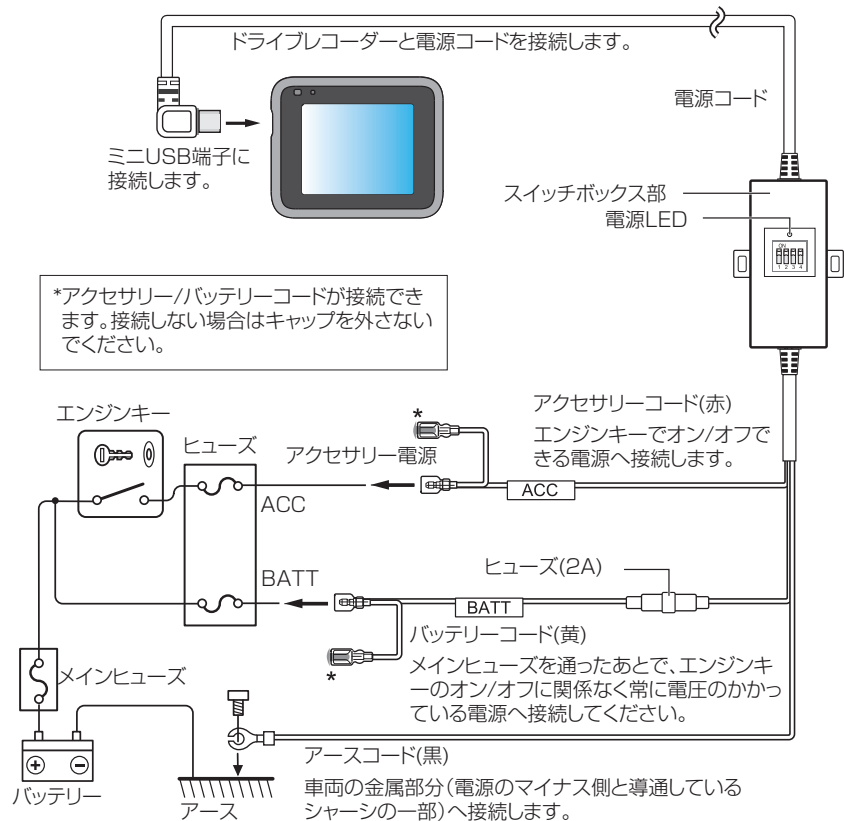
・接続をする前にCA-DR150(別売品)に付属の取扱説明書に記載されている「安全のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。
また、スイッチ設定、配線についても事前にお読みください。

1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を設定する

CA-DR150(別売品)に付属の取扱説明書内、「スイッチ設定」をお読みになり必ず設定してください。

2 配線する

アクセサリ電源がオンになっても電源電圧(12V/24V)を判定するためドライブレコーダーへの5V供給は一定時間(約20秒前後)経過後開始されます。

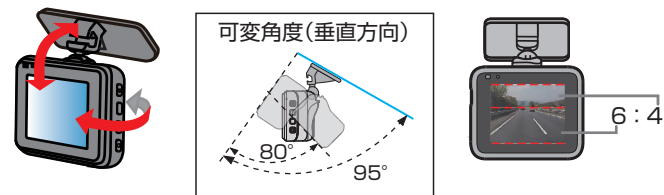


3 エンジンキーをオンにしてそのまま3分以上充電する

3分以上充電すると使用できるようになります。

4 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約6対4であることを確認してください。



5 カメラレンズの保護シートをはがす



6 電源ボタンを電源がオフになるまで押し続ける。もう一度電源ボタンをオンになるまで押し続けて電源を入れ直す

角度調整が終了したら必ず電源を入れ直してください。また、電源をオンのままで本機を取付ブラケットから外したり、角度が変わってしまったときも電源がオンの状態で角度を調整し直して、電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

Step2:日付および時刻を設定する

本機はGPSを搭載しておりません。自動で日付や時刻は設定されません。充電後、電源を入れて日付および時刻を設定してください。表示されている時刻が録画ファイルに記録されます。

1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



2 「日付/時刻設定」を選ぶ



3 変更したい項目(年・月・日・時・分・秒)を選択して値を変更する



4 手順3の操作を繰り返して「秒」までを変更する

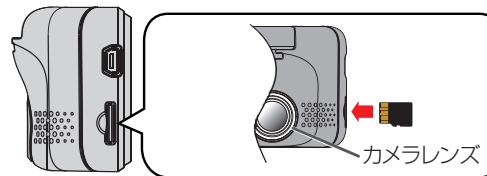
5 「秒」を選択状態にして確定ボタンを押す



Step3:メモリーカードを挿入する

1 電源ボタンを電源がオフになるまで押し続ける

2 電源がオフになっていることを確認してメモリーカードを本機に挿入する



メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを押ししてメモリーカードが少し飛び出たら引き抜きます。

※メモリーカードを使用する前と2週間に一度くらいを目安にメモリーカードをフォーマットしてください。

3 電源ボタンを電源がオンになるまで押しつづける



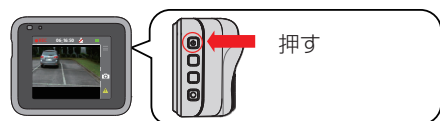
4 メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを使用する前と2週間に一度くらいを目安にメモリーカードをフォーマットしてください。操作については「メモリーカードをフォーマットする」をご覧ください。

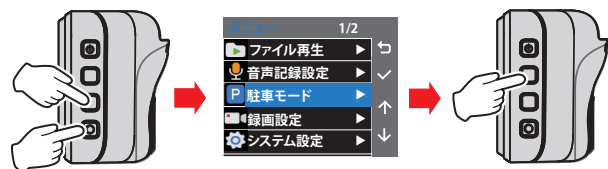
**駐車モードを使用しない場合はここでセットアップは終わりです。
駐車モードを使用する場合はStep4に進んでください。**

Step4:駐車モードをオンにする

1 電源ボタンを押してメニューを表示する



2 「駐車モード」を選ぶ



3 「駐車モード設定」を選ぶ



4 「オン」を選ぶ



「駐車録画用の記憶領域がありません。記憶領域の割り当てを調整してください。」と表示されます。

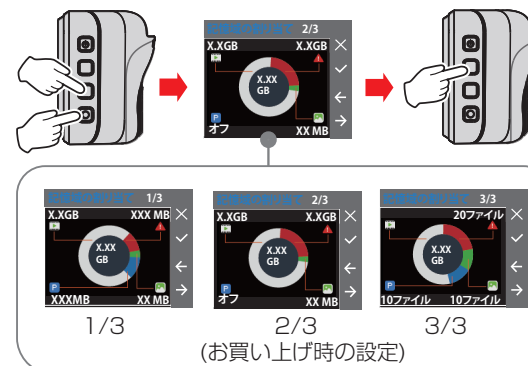
5 確定ボタンを押す



6 記憶領域の割り当てを設定する

初期値は**2/3**に設定されています。

- ・駐車モードを使用する場合は必ず**1/3**または**3/3**に設定してください。
- ・割り当てを変更するとメモリーカード内のデータが消去されます。設定を変更する前に必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。



記憶領域の割り当て	メモリーカード容量	常時(録画)	イベント(記録)	駐車(録画)	写真
1/3 容量で割り当て	4GB	約32分	約3分	約1分	約75枚
	8GB	約1時間5分	約7分	約3分	約150枚
	16GB	約2時間10分	約15分	約7分	約300枚
	32GB	約4時間20分	約30分	約15分	約600枚
2/3 お買い上げ時に設定されています。	4GB	約32分	約6分	駐車録画の記憶領域はありません。	約75枚
	8GB	約1時間5分	約14分		約150枚
	16GB	約2時間10分	約30分		約300枚
3/3 ファイル数で割り当て (常時は他のファイルの残り容量によります。)	4GB	約32分	最大 20ファイル	最大 10ファイル	最大 10ファイル
	8GB	約1時間5分			
	16GB	約2時間10分			
	32GB	約4時間20分			

- ・ 付属されているメモリーカード 16GB
- ・ 記録時間及び写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- ・ 録画は録画領域がなくなると古いファイルを消して録画し続けます。

設定を変更すると「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」とメッセージが表示されます。

7 確定ボタンを押す



フォーマットが開始され駐車モードが「オン」に設定されます。

8 別売のCA-DR150を接続している場合は、「Step4:駐車モードをオンにする」の手順1と2の操作を行って手順3で「自動起動設定」を選んで設定が「感度:中」になっていることを確認する

- 本機の「画面表示設定」のお買い上げ時の設定は「常時表示」です。駐車録画モードのときも画面は明るいままとなります。画面表示を暗くしたい場合は「常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する」（下記）を参照して設定を変更してください。

常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する

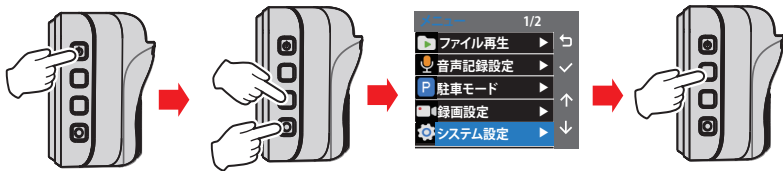
操作をしていないときに画面表示が暗くなる(画面オフ)までの時間を設定できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。駐車モード中も画面が明るいままとなります。駐車モード中とそれ以外など分けて設定することはできません。

「常時表示」以外に設定すると操作が無かった場合に設定した時間で画面が暗くなります。

- メニュー表示中や駐車録画中、イベント録画中など常時録画と駐車モード監視中以外は画面表示が暗くなる(画面オフ)機能は動きません。

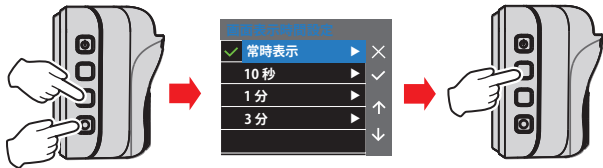
1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



2 「画面表示時間設定」を選ぶ



3 設定したい時間を選ぶ



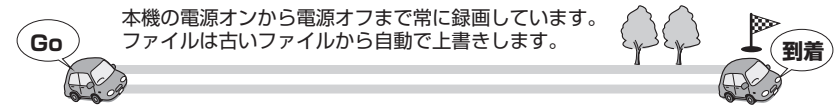
本機の録画機能について

本機の録画機能は4つあります。
電源がオンになると常時録画(機能1)を開始します。
また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録(機能2)を行います。
本機の電源がオフのときは駐車モードで駐車録画(機能3)ができます。
その他の機能として写真も撮影することができます。(機能4)
▪ ドアを閉めた時の振動を検出して、録画を開始する場合があります。

機能1：常時録画（連続録画）

もしもに備えて走行中の映像を常に録画します

常時録画



ACC をオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画（連続録画）が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。録画領域がなくなると古いファイルから上書きして録画を続けます。

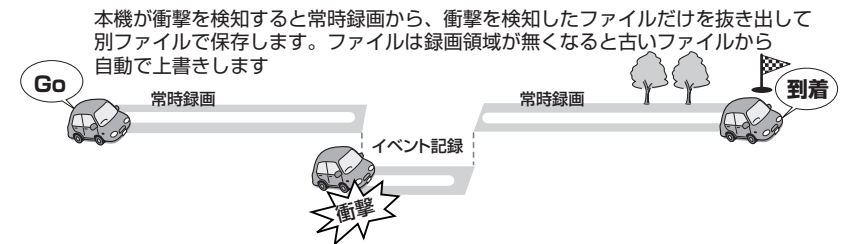


- 常時録画データは「Video」フォルダに保存されます。
- 設定メニューの[録画設定]－[記録時間設定]で1ファイルの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。

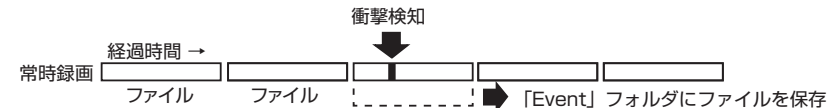
機能2：イベント記録

走行中に衝撃を検知したら録画します

イベント記録



突発的な衝撃、急加速、急ターン、予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させたい場合はイベント記録ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画（連続録画）に戻ります。



- イベント記録データは [Event] フォルダに保存されます。
- 設定メニューの[録画設定]－[記録時間設定]で1ファイルの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。

機能 3：駐車録画

駐車中でも衝撃および動作を検出したら録画します

- 駐車録画機能を使うときは「本機のセットアップ」左のStep4「駐車モードをオンにする」を参照して設定してください。

駐車録画

駐車録画は別売りのCA-DR150を接続した場合と接続していない場合で動作が異なります。CA-DR150（別売品）を接続したときは、録画時間が長くなります。実際の時間はCA-DR150の設定によります。設定についてはCA-DR150の取扱説明書をご覧ください。CA-DR150を接続していない場合は駐車モードは約最大25分（内蔵電池が満充電で「画面表示時間設定」が「10秒」に設定されているとき）で終了となります。

また、駐車モードの監視に入るタイミングも異なります。

■CA-DR150（別売品）を接続していないとき

駐車場などに車を停めて本機の電源がオフになるとすぐに駐車モード監視中になります。衝撃や動作を検出すると録画を開始します。

電源オフ→駐車モード監視中 → 衝撃・動作検出 → 駐車録画開始



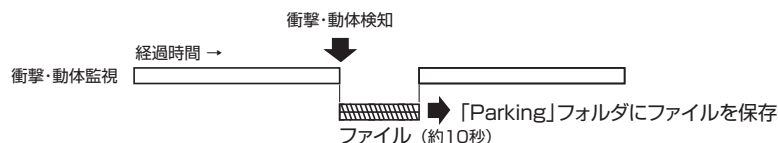
■CA-DR150（別売品）接続時

駐車場などに車を停めて本機に振動などの衝撃が約5分加わらないと駐車モード監視中になります。

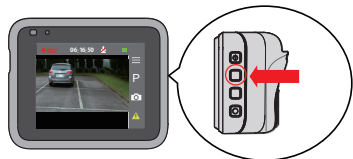
衝撃や動作を検出すると録画を開始します。

駐車モードに入るまでの5分間は常時録画として録画されます。

車両に振動など何も加わらない状態が約5分続く → 駐車モード監視中 → 衝撃・動作検出 駐車録画開始



- 駐車録画ファイルは「Parking」フォルダに保存されます。
- 駐車録画の録画時間は約10秒です。変更できません。
- 録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。
- 継続的に衝撃がかかった場合は常時録画に切り替わります。
- 駐車録画は衝撃・動体検知により最大60秒まで延長します。
- 衝撃や動体を検出してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- ドアを閉めたときの振動を検出して駐車録画が開始することがあります。
- 検出の種類（衝撃、動作検出）についてはメニューの「駐車モード」→「検出方法設定」で設定できます。
- CA-DR150（別売品）を接続しているときに、メニューの「駐車モード」→「自動起動設定」を「手動」に設定しているときは、車両に振動などが何も加わらない状態が5分続いても自動で駐車モードにはなりません。本機の下図のボタンを押して駐車モードにしてください。



機能 4：写真を撮影できます

表示している映像を写真として保存することができます。



- 写真データは「Photo」フォルダに保存されます。
- ファイルは古いファイルから自動で上書きします。
- 駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイル再生中は写真を撮影することはできません。

録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルを本機で再生します。

[常時] ファイルを再生する場合

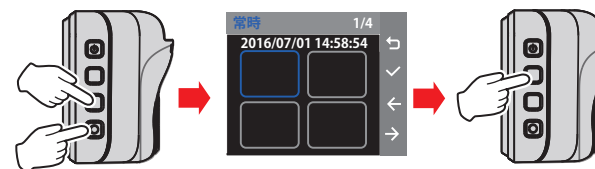
1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダ(常時)を選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

再生中に上から2つ目のボタンを押すと再生メニューが表示されます。



再生:
[再生]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生します。

イベントへ移動:
[イベントへ移動]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。

削除:
[削除]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。さらにもう一度押すと表示中のファイルが削除されます。

再生中に上から2つ目のボタンを押すと再生メニューが表示されます。
注) 再生中は[一時停止]と表示され、再生が終わると自動的に[一時停止]から[再生]に切り替わる。



再生:
[再生]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生します。

削除:
[削除]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。さらにもう一度押すと表示中のファイルが削除されます。

【イベント】ファイルを再生する場合

1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダ(イベント)を選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

【駐車】ファイルを再生する場合

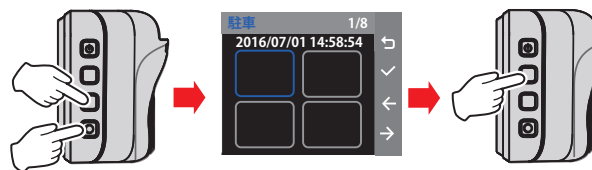
1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダ(駐車)を選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

再生中に上から2つ目のボタンを押すと再生メニューが表示されます。
 注) 再生中は[一時停止]と表示され、再生が終わると自動的に[一時停止]から[再生]に切り替わる。



再生:
 [再生]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生します。

削除:
 [削除]を選択し、もう一度上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか?」が表示されます。さらにもう一度押すと表示中のファイルが削除されます。

[写真] ファイルを再生する場合

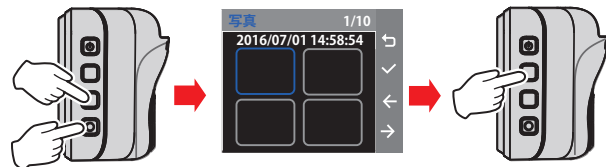
1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダ(写真)を選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ

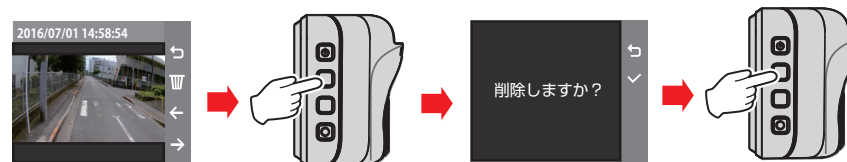


選んだファイルが再生されます。

■ ファイルを削除する

1 2つ目のボタン (ゴミ箱) を押す。

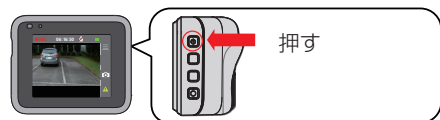
削除しますか?と表示され、さらに2つ目のボタンを押すとファイルは削除されます。



設定を変更する

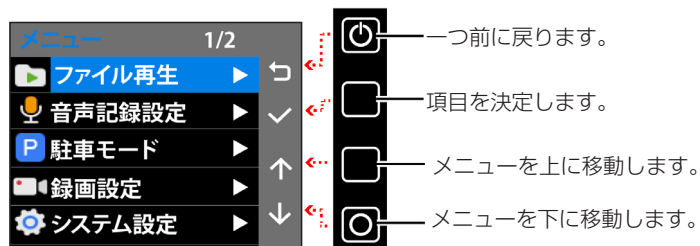
メニューを表示する

1 電源ボタンを押す




メニューが表示されます。
 駐車録画モードのときは電源ボタンを押して駐車録画モードを解除してください。
 メニュー表示中は録画できません。

■ メニュー画面操作



メニュー	項目	機能説明
ファイル再生	常時* イベント 駐車 写真	フォルダとファイルを選んで再生します。 ファイル再生中に、ファイルの移動や削除も行えます。
音声記録設定	オン* オフ	録画時に音声を同時に記録するかしないかを設定します。
駐車モード	駐車モード 設定	駐車モードを使用するかしないかを設定します。駐車モードを「オン」にすると記憶領域の設定と、メモリーカードのフォーマットをする画面が表示されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。設定の操作については表面の「本機のセットアップ」の Step4 をご覧ください。
	検出方法 設定	駐車モードの録画を開始する検出方法を設定します。 動作&衝撃検出* 衝撃検出 動作検出

メニュー	項目	機能説明	
駐車モード	自動起動 設定	<p>自動起動設定は約5分車両に振動が加わらなかった場合に駐車モードが自動で起動します。この設定は渋滞などで低速走行中などに、駐車モードが自動で起動しないようにする機能です。低速走行中に駐車モードに頻繁に入ってしまうときは「感度:低」にしてください。駐車モードで速度を上げても常時録画に戻らず、駐車モードのままのときも「感度:低」に設定を変更してください。</p> <p>感度(高):駐車モードが起動しやすく常時録画に戻りにくい 感度(低):駐車モードが起動しにくく常時録画に戻りやすい 手動:自動で起動せずに、手動で駐車モードを起動します。 手動で駐車モードを起動するには画面に「P」が表示されているときに下図のボタンを押します。</p>	
	動作検出感 度設定	<p>低 中* 高</p> <p>駐車モードのときにレンズ範囲内の人や車の動きを検出する感度を設定します。 低(動作検出をしにくくする) ↔ 高(動作検出をしやすくする)</p>	
	衝撃検出感 度設定	<p>低 G値0.4G 中*G値0.3G 高 G値0.2G</p> <p>駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度を設定(低 0.4G、中 0.3G、高 0.2G) します。 低(衝撃を検出をしにくくする) ↔ 高(衝撃を検出しやすくする)</p>	
録画設定	記録時間 設定	<p>1分 3分* 5分</p> <p>常時録画(連続記録)、およびイベント記録に記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。</p>	
	HDR	オン* オフ	明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。
	明るさ	-1●●●1	記録される画像の露出(明るさ)レベルを設定します。
	衝撃検出感 度設定	<p>低 高 G値:3.0G ~0.5G</p> <p>イベント記録の衝撃検出の感度を設定(低 3.0G~高 0.5G) します。 低(衝撃検出をしにくくする) ↔ 高(衝撃検出をしやすくする)</p>	
	カスタム文 字設定	(画面参照)	<p>録画ファイルの映像右下に設定した文字を記録することができます。文字は最大12文字まで設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ←/→:カーソルが左右に移動します。 ✓:選択中の文字を確定します。 入力した文字を削除するには、←/→で「←」を選んで✓を押すと文字が削除されます。

メニュー	項目	機能説明	
システム設定	日付／時刻設定	手動設定 (画面参照)	日付(年月日)と時刻(時分秒)を設定します。
	操作音設定	オン* オフ	警告音および、メニューの操作時の操作音を出力するかしないかを設定します。
	音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルと警告音、メニュー画面を操作するときの操作音を設定します。
	画面表示時間設定	常時表示* 10秒 1分 3分	常時録画と駐車モード中に本機の操作をしていないときに、画面表示をオフにするまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のボタンのいずれかを押します。詳細は右記の「常時録画と駐車モード中の画面表示時間の設定を変更する」をご覧ください。
	記憶域の割り当て	1/3 2/3* 3/3	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶領域を設定します。変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。
	初期値に戻す	—	メニュー内の設定を工場出荷時の状態に戻します。同時にメモリーカードもフォーマットされメモリーカードのデータが消去されます。操作の前に必要なメモリーカード内のファイルを保存してから操作してください。
バージョン	(画面参照)	バージョン情報を表示します。	
フォーマット	メモリーカードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。 操作の前に必要なメモリーカード内のファイルをバックアップしてから操作してください。		

*:お買い上げ時の設定

- メニュー表示中は録画はできません。

常時録画とイベント記録の記録時間設定を変更する

常時録画とイベント記録の録画または記録する1ファイルごとの時間を変更することができます。

- お買い上げ時は3分に設定されています。
- 駐車録画の録画時間設定はありません。駐車録画の1ファイルの録画時間は約10秒で、変更できません。

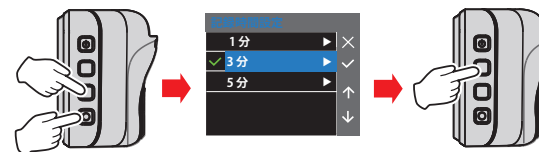
1 メニューを表示して「録画設定」を選ぶ



2 「記録時間設定」を選ぶ



3 設定したい時間を選ぶ



常時録画とイベント記録の録画時間設定を変更する

常時録画とイベント記録の録画または記録する1ファイルごとの時間を変更することができます。

- お買い上げ時は3分に設定されています。
- 駐車録画の録画時間設定はありません。駐車録画の1ファイルの録画時間は約10秒で、変更できません。

1 メニューを表示して「システム設定」を選ぶ



2 「画面表示時間設定」を選ぶ



3 設定したい時間を選ぶ



KENWOOD ROUTE WATCHER II

「KENWOOD ROUTE WATCHER II」は、本機で録画した映像を表示するためのパソコン用専用ビューアソフトです。

(対応OS :Microsoft Windows Windows 7/8.1/10 32/64bit、
MAC OS X 10.7以上)

- 「KENWOOD ROUTE WATCHER II」の地図表示には対応していません。

インストールする

- インストールするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

1 <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>にアクセスして型名を選び「KENWOOD ROUTE WATCHER II」のインストーラーをダウンロードする

2 画面に従ってインストールする

- 「KENWOOD ROUTE WATCHER II」の操作方法については、<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>で型名を選んだページをご確認ください。

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない	電源コードの差し込み(車両側、本機側)が不十分などで、電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと本体側の差し込みを確認してください。
	シガープラグ内蔵のヒューズが切れている	コードの配線を確認し、ショートしていないことを確認後、同じ容量のヒューズと交換してください。
録画できない データが残っていない	SDカードが入っていない	本機で使用可能なSDカードをSDスロットに挿入してください。
	8~32GB以外のSDカードを挿入した	フォーマットについては、本機に付属の取扱説明書の「メモリーカードをフォーマットする」を参照してフォーマットを行ってからご使用ください。
	SDHCに準拠していないSDカードが挿入された	
	SDカードがフォーマットされていない	
	データ容量に空きがない為、古いデータが上書きされてしまった	それぞれの録画領域に空きがない場合は、撮影記録の古い順に上書きされていきます。こまめにデータをPCなどへ保存してください。

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	駐車モードがオンになっていない	駐車モード設定をオンにしてください。
	電池が充電されていない	0~45℃の環境で、本体の充電を行ってください。 オプションケーブル(CA-DR150等)を使用している場合、配線が間違えていないか確認してください。
	自動起動設定が手動に設定されている	自動起動感度を再設定するか、画面に表示されている「P」に対応するボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。
駐車録画ができない	急な坂道などに駐車している	画面に表示されている「P」に対応するボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。 ※ 本体起動時にGセンサーの値がプリセットされるため、起動時と停車時で本体の角度が大きく異なる場合、Gセンサーが誤った値を示してしまい、駐車録画モードの自動起動が正しく動作しません。

症状	原因	対処方法
録画内容が切れている	内蔵電池の電池残量が少なくなった	電源ケーブルが本体に正しく接続されているか、確認してください。なお、内蔵電池で記録できる時間は限られています。(満充電時:最大15分)
	バッテリーの電圧がオプションコード(DR-150)の電圧カットオフ設定値以下になった	オプションケーブル(DR-150)の電圧カットオフ設定値を11.8Vに設定してください。それでも症状が改善されない場合、車のバッテリー電圧が11.8V以下の可能性があります。車両販売店にてバッテリーの電圧を確認してください。
録画内容が見つからない	駐車録画から通常録画に切り替わった	駐車録画中、衝撃を複数回感知した場合、常時録画モードに切り替わり、録画データはVideoフォルダーに保存されます。Videoフォルダーを確認してください。
渋滞などの低速走行中、駐車録画が起動してしまう	自動起動感度設定が走行状態に対して高い設定になっている	自動起動感度設定を“低”に設定してください。設定感度を“低”に設定しても、症状が改善しない場合は、設定を手動にしてください。

時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる	— (自動設定機能なし)	手動で設定してください。

ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
録画記録が抜けている	常時録画中にイベント記録が発生したり、駐車録画中にイベントが連続的に発生し、通常録画に移行した	メモリーカードに録画した映像は、項目ごとのフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がファイルに付けられます。それぞれのフォルダを開いて、データの有無を確認してください。
ROUTE WATCHERが起動しない	管理者権限でインストールしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。

主な仕様

撮影素子

1/2.7型 211万画素CMOS

レンズ

F2.0 固定フォーカス

最大記録画角

水平:約100° 垂直:約52°

対角:約111°

液晶サイズ

2.0インチ フルカラー-TFT

記録形式

動画:H.264 (MP4)

静止画:JPEG 準拠 (1920x1080)

フレームレート

27.5fps

記録解像度

1920x1080(約208万画素)

記録媒体

microSDHC カード Class6 以上
(4GB ~ 32GB)

※初めに本機でフォーマットが必要です

電源電圧

USB シガープラグ

入力:DC 12V/24V

出力:DC5V/1A (最大)

消費電力

2.1W(常時録画時)

外形寸法(WxH x D)

62mm x 51mm x 37mm

ブラケット取付時(H): 84mm

==Konatu Description==

This is TrueTypeFont where BitmapFont is embedded.
It was confirmed to use it with Windows XP, and
Ubuntu 12.10

===licence===

This work is licensed under The MIT License.

* <http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

===Author===

BY:MASUDA mitiya

Mail:mitimasu@gmail.com

Please use Japanese or easy peacy English.

=====
The MIT License (MIT) The MIT License (MIT)Copyright
(c) <2016> <copyright holders>

Permission is hereby granted, free of charge, to
any person obtaining a copy of this software and
associated documentation files (the "Software"), to
deal in the Software without restriction, including
without limitation the rights to use, copy, modify,

本体質量

約65g(付属microSDHCカード含む、コード/
ブラケットを除く)

動作環境

-10℃ ~ +60℃

充電時は 0℃ ~ +45℃

付属品

シガープラグコード(3.5m) x 1

取付ブラケット(両面テープ) x 1

microSDHCカード

16GB x 1

CD-ROM(PC用ビューワーソフト/取扱説明書) x1

- これらの仕様およびデザインは、技術開発こともない予告なく変更になる場合があります。
- microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh,iMovie,Mac,Macロゴは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Googleマップは、Google Inc.の商標または登録商標です。

この装置はクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell
copies of the Software, and to permit persons to
whom the Software is furnished to do so, subject to
the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice
shall be included in all copies or substantial portions of
the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT
WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES
OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT
SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS
BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER
LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,
TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR
OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

その他

記録時間の目安(バッテリー満充電時)

駐車モード待機時間:約 25 分

常時録画時(連続録画時間):約 15 分

充電時間の目安

付属のシガープラグ使用時:約 3 時間

※購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。その場合、動作が不安定になったり、駐車録画が出来ない場合があります。十分に充電してから使用を開始してください。

使用上のご注意

- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しない場合は、電源を入れなおしてください。電源を入れなおすには本機の底面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押して電源を切ります。電源ボタンをもう一度押すと本機の電源が再度オンになります。
- 本製品はあらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。
- LED信号機には消滅の間隔を短くすることで対応していますが、撮影時の天候や時刻等の要因により点滅の間隔が変わります。また信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

メモリーカードについて

- PCやデジタルカメラなど、他の機器でメモリーカードのフォーマットまたは編集を行うと、本機で正常に動作しない可能性があります。本機で、メモリーカードのフォーマットおよび設定を行ってください。
- 本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、メモリーカードの仕様によって異なる場合があります。
- メモリーカードは、分解したり改造を行わないでください。
- メモリーカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- メモリーカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- メモリーカードは常に清潔で乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所で放置しないでください。
- メモリーカードのデータが壊れる可能性がありますので、記録中や再生中にメモリーカードを取り外さないでください。
- メモリーカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- メモリーカード内の必要なファイルは必ずPCなどにバックアップ(コピー)をしてください。
- メモリーカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■ 保証について

保証書

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ・ ホームページ
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- ・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHSからは 045-450-8950
(受付時間などは裏表紙を参照してください。)

■ 修理を依頼されるときは

取扱説明書または当社ホームページのFAQを参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・ 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- ・ 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

内蔵電池の交換について

電池の使用出来る時間が短くなったと感じられるときは、内蔵電池の寿命です。交換をお勧めします。内蔵電池の交換は、販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機を廃棄するときのご注意



Li-ion 00

充電式電池のリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池は、リサイクルできます。
充電電池の取りはずしは、お客様自身では行わないでください。
本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前登録を!

本制度のご利用には事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または下のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円 (一律)

JDRC **ドライブレコーダー協会** 補償金制度担当 **株式会社リムライン**
お問い合わせ **e-mail : info@jdrc.gr.jp**

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリージェ南大井ビル4F FAX:03-5753-0086

内容

補償金の範囲

- ① ドライブレコーダーの再購入費用
- ② SDカード再購入費用
- ③ ドライブレコーダーの撤去費用
- ④ ドライブレコーダーの再設置費用
- ⑤ 交通事故証明書の発行費用
- ⑥ 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- ⑦ その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無 料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、
車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- ① ドライブレコーダー本体
- ② ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- ③ 交通事故証明書(写しても可)
- ④ レッカー搬送の証明書類
- ⑤ 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- ⑥ 補償金請求書



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。